

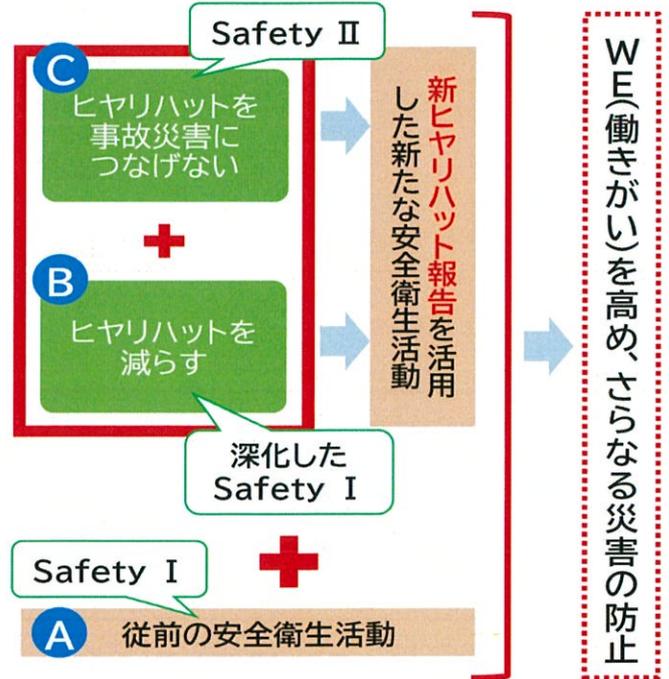


# 建 災 防 方式 新

# ヒヤリハット報告

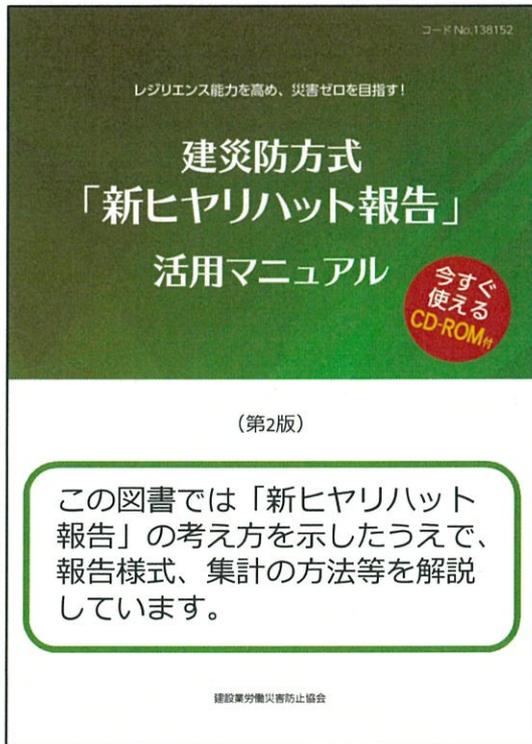
建災防では、近年、建設業における労働災害の減少率が鈍化するなか、新たな切り口として、人が関わる要因（作業負荷、心身の状態、コミュニケーション等）に着目した労働災害防止対策を検討してまいりました。

これは、刻々と変化する作業環境に対応するレジリエンス能力の向上（C）、災害要因の背景となる働く人々の心身の状況等ヒューマンファクターの背後要因（B）への対応という新しい視点での安全衛生の取組を、これまでの安全衛生対策（A）に組み込むことにより、労働災害発生の膠着状況を打破するきっかけになるのではないかとこの観点から検討したものです。



その具体的ソリューションとして、この度「新ヒヤリハット報告」を開発しました。

この「新ヒヤリハット報告」を活用して、これまでの安全衛生活動（Safety I）に加え『「深化したSafety I」+「Safety II」』の取組の展開を図りましょう。



建災防方式「新ヒヤリハット報告」活用マニュアル (CD-ROM付き)

№138152 B5判・111ページ

定価 1,510円 (税込) 会員価格 1,360円 (税込)

## 第2版は自動集計・分析ができるCD-ROM付き！

### 収録内容

1. 建災防方式 新ヒヤリハット報告 集計シート (Excel)
2. 建災防方式 新ヒヤリハット報告 集計シート取扱説明書 (pdf)
3. 建災防方式 新ヒヤリハット報告活用の意義 (pdf)
4. 建災防方式 新ヒヤリハット報告様式 (pdf)
5. 建災防方式 ヒアリングシート (Word)
6. 建災防方式 新ヒヤリハット報告活用事例様式 (Excel)

## 新ヒヤリハット報告について

建災防 技術管理部  
建設業メンタルヘルス対策室

電話 03-3453-0464 (直通)  
FAX 03-3453-0992

## 図書のご注文について

東京：建災防 教育推進部  
教材開発センター 教材管理課

電話 03-3453-3391  
FAX 03-3453-5735

その他：建災防都道府県支部



# 新ヒヤリハット報告の構成

## 表面

### 新ヒヤリハット報告

## 記入例

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバリーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれらの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 2008年 11月 20日

職種: 石工 経験年数: 25年

記入日、職種、経験年数、年齢を記載します。

いつ( )月頃 どこで(この現場) 他の現場( ) どのような場所で( )

どのような体験か(当てはまるものには○をしてください)

1 墜落しそうになった	5 もの割れかかった	9 やけどしそうになった
2 転倒しそうになった	6 自分からぶつかりそうになった	10 感電しそうになった
3 機械等に衝突されそうになった	7 はさまれそうになった	11 交通事故になりそうだった
4 ものが落下してきた	8 切られそうになった	12 その他( )

体験の状況図(図は別紙記載でも可)

「ヒヤリハット」の内容

どのような作業で? 敷石を敷設作業中、

何をしようとしていた時? 厚い石材をベビーサンダーで切断する加工を行っていたところ、

どうなったか? サンダーがはねて顔に当たりそうになった

発生原因(考えられるもの全てに○をしてください)

1 設備・機械に問題があった	5 連絡・連携ミスがあった
2 工具・保護具に問題があった	6 確認が不足していた
3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった	7 よく考えずに行動してしまった
4 作業方法に問題があった	8 考えずしていた
	9 よく見えなかった

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

以下、当てはまる番号に1つ○をしてください(各項目で選択肢が異なっているため、よく読んで回答してください)

＜背後要因＞

非常にたくさん仕事をしなければならなかった	1	2	3	4
時間内に仕事を処理しきれなかった	1	2	3	4
一生懸命働かなければならなかった	1	2	3	4

＜あなたの状態＞

ひどく疲れた	1	2	3	4
へとへとだ	1	2	3	4
だるい	1	2	3	4
気がはりつめている	1	2	3	4
不安だ	1	2	3	4
落ち着かない	1	2	3	4
ゆううつだ	1	2	3	4
何をやるのも面倒だ	1	2	3	4
気分が晴れない	1	2	3	4
食欲がない	1	2	3	4
よだれがない	1	2	3	4

裏面にも記入してください

## 裏面

＜あなたの仕事について＞

自分のペースで仕事できた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

＜あなたの周りの方々について＞

次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか	非常に	かなり	多少	全くない
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか	非常に	かなり	多少	全くない
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか	非常に	かなり	多少	全くない
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

＜あなたの仕事について＞

職場では、気持ちがつらついている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	3	4

＜「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由＞

知識や経験を活かすことができた	全くなし	あまりなし	多少あり	非常に
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何が起こりそうなる予感がした	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害に至らずに直前に回避できたのは、なぜですか

＜例＞厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて顔に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

回避できた理由を具体的に記載します。

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体験教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の忠告	12 危険箇所の見える化	22 懇話会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の見える化	23 休憩
4 現場での黙礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現場ミーティング	15 進捗確認	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への自配り	28 かつらげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

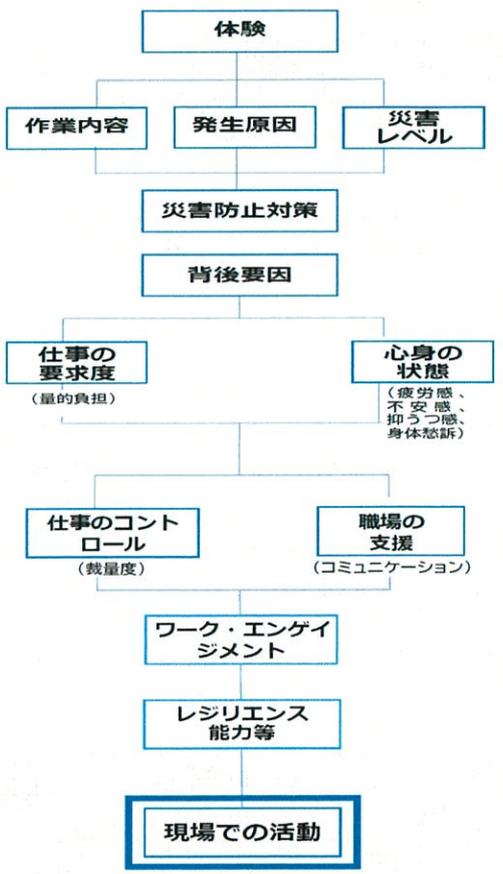
あてはまるもの一つだけ○をします。

## A

従前の安全衛生活動

## C

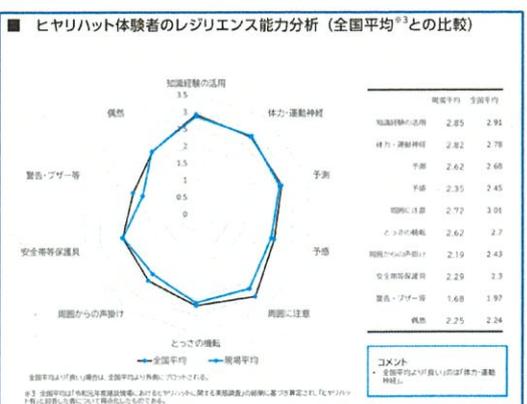
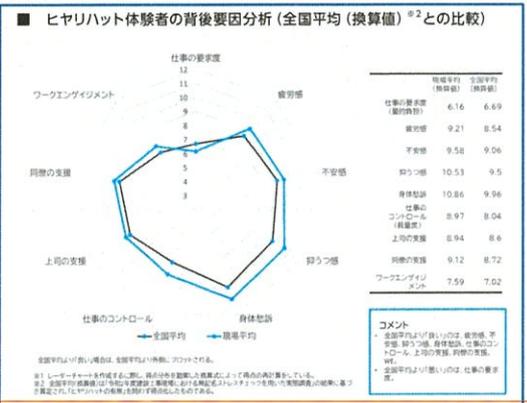
ヒヤリハットを事故  
災害につなげない



## B

ヒヤリハットを減らす

帳票を集計すると・・・



このレポートから、現場又は職種ごとにヒヤリハットの背後要因やレジリエンスの能力等の特徴を把握して、災害防止に役立つ現場での安全衛生活動へとつなげることができます。

・ この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。  
 ・ この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。  
 ・ 記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。  
 ・ 後日、この報告に関するヒヤリングに協力いただける方は、所属と連絡先をお知らせください。  
 所属・氏名 連絡先